



『あいさつは思いやり』

おはようございます。(おはようございます。)

今日は、「あいさつは思いやり」という話をします。

始業式で、新学期もみんな『元気に、なかよく、たのしく』力を合わせてたのしい1年を作ろう、そしてみんな元気のでないときだからこそ、自分も人も大切に、みんなでたのしくすごせるように、思いやりの気持ちを特に大切に1年間すごしていこう、という話をしました。

心も体も「元気に」、けがも病気もしないように目と耳と心を使って。

「なかよく」、すこしずつの我慢を出し合って自分も人も大切に、思いやりの心を大切に。「たのしく」、自分のやりたいことを見つけて、できないことをできるように。

『元気をだして、誰ともなかよく、そしてたのしく』すごしていくためのスタートはなんだと思いますか。

それは、人を想う気持ちを伝える、心を込めた「あいさつ」です。

今日は、「あいさつはおもいやり」という話をします。

あいさつは、思いやり。相手の人の気持ちを考え、思いやり、声をかける。

毎朝、東門の外で、皆さんとあいさつしていると、こちらが声をかける前にかけてきて体中笑顔でキラキラ挨拶をしてくれる人、挨拶すると笑顔で挨拶を返してくれる人、はずかしそうにそっと笑顔をかえしてくれる人、黙って通り過ぎていく人。いろいろな人がいます。でも、そんななかでも、たくさんの桃五の皆さんと握手したり、ハイタッチしたりして、挨拶をしていると、いつの間にか皆さんの笑顔や、元気な声が心の中に入ってきて、私も元気でいっぱいになるのです。

だから、黙って通り過ぎようとする人にも、しつこく挨拶のシャワーで追いかけていくようにしています。挨拶はただ声をかけあっているわけではありません。あいさつは心のキャッチボール、「思いやり」の言葉なのだと思うのです。

「おはよう」、元気ですか、今日も一日どうかよろしく。

「おはようございます。」、あれれ、元気がないよ、だいじょうぶ？

「さようなら」、今日も一日ありがとう、また明日あいたいね。元気でいてください。

「ありがとう」、きみのおかげです。感謝しています。これからもよろしく。

そう、心を込めたあいさつには、相手の人への思いやり、いっしょになかよく頑張ろうという気持ちがこもっているものです。

だから、一生懸命あいさつしていると、いつの間にか相手の人の気持ちも伝わってくるものです。だから、心が元気になるのです。そんな、皆さんに、私も毎日元気をもらい、たすけられているのですよ。

さあ、元気に、なかよく、たのしく、すごすための一番の近道、わかったでしょう。
元気な気持ちであいさつをしてみんなに元気を分けてあげる。相手の気持ちを大切に
にしてあいさつすることでお互いにやさしく、なかよくなれる。心のこもったあいさ
つで勇気と元気が出てどんなこともできるようになるまでがんばれる。

だから、心を込めたあいさつは「元気に、なかよく、たのしく」すごすための桃五
の子どものスタートなのです。

心を込めて人を思いやり、すてきな「あいさつ」で、元気をたくさんの人に分けて
あげてください。

さあ、明日からどんなあいさつが聞こえてくるでしょう。
お話おわりまあす。

